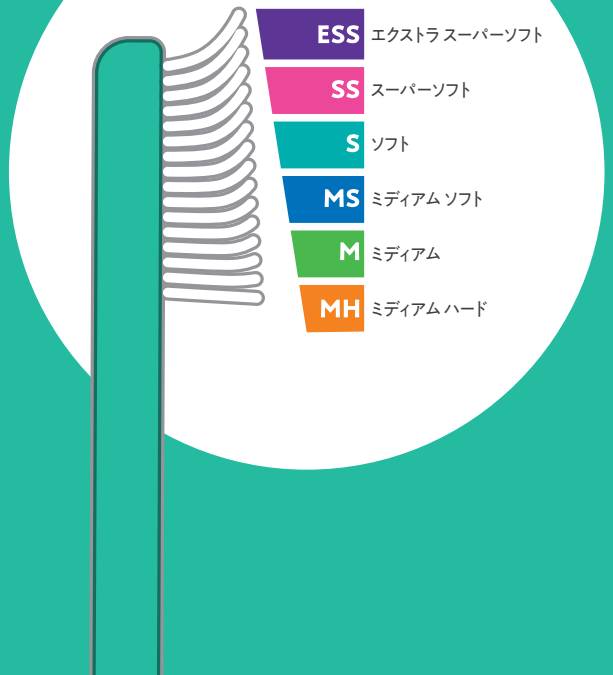
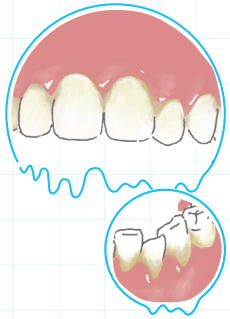
# 『タフト24』お口の状態にあわせた歯ブラシの選び方

患者さんによってお口の状態はさまざま。どのかたさがピッタリか、選ぶ際の参考にしてください。

## タフト24 ラインナップ



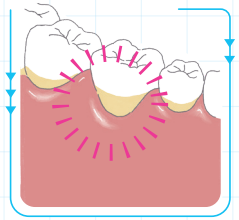

## プラークと歯の状態



### □ ネバネバしたプラーク

S MS M

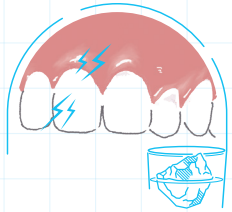
ネバネバのプラークをかき取るには、ある程度の力が必要です。ただし、かための歯ブラシでは隅角部の磨き残しが多くなりがちに。だんだんとやわらかいものに移行しましょう。



### □ 歯肉退縮・根面露出

SS

かたい歯ブラシでのケアや強いブラッシング圧は、歯面へのダメージが大きいうえに歯肉退縮を進める要因にも。やさしく磨けるSSを勧めましょう。

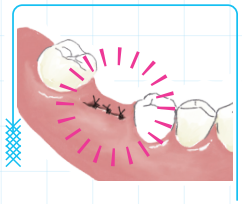


### □ 知覚過敏

ESS SS

歯がしみる場合は、必ずESS/SSなどのやわらかい歯ブラシを。くさび状欠損の悪化や痛みを強める原因にもなるため、かための歯ブラシは禁物です。

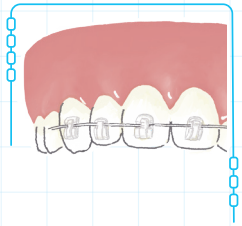
## 処置別



### □ 術後・抜歯後

ESS

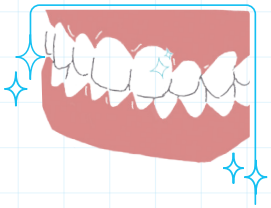
歯ブラシを使わずにいると、周囲の歯にプラークが蓄積しやすい状態に。歯肉への負担が少なくしっかりプラークを落とせるESSがおすすめです。



### □ 矯正治療中

痛みがある ESS SS　痛みがない SS S

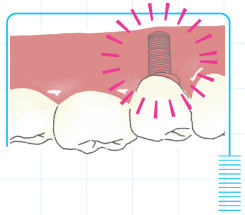
矯正治療中のセルフケアは、痛みの状態にあわせてかたさを選びます。装置周りのケアにはS/MSがおすすめ。



### □ ホワイトニング後

ESS SS

薬剤でデリケートな状態になっている歯面。処置中に痛みがあった方にはESS、痛みがなくてもSSでやさしくケアを。



### □ インプラント

ESS SS

術中術後のケアが大切なインプラント治療。術後はESS、落ち着いてきたらSSがおすすめです。天然歯とは違うので、やわらかめの歯ブラシを勧めましょう。

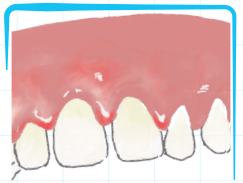
## 歯肉の状態



### □ 歯肉炎

SS

少し炎症がある場合は、歯肉を傷つけずしっかりプラークを落とせるSSがおすすめです。



### □ 重度歯周炎

ESS

炎症が進んでいる場合はESSを。歯ブラシだけでなく歯周治療を行ない、同時にフロスやワンタフトブラシなどでセルフケアを強化させましょう。